

- 1 日時 平成23年11月14日(月) 9時30分～12時
- 2 会場 さいたま市役所 2階 特別会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員
    - ① 学識経験者  
佐々木寧委員(会長)、堂本泰章委員(副会長)、藤野毅委員、小茂田美保委員、磯田洋二委員
    - ② 行政関係者  
竹島睦委員、秋間秀雄委員、小暮武志委員、吉川昇男委員、鯉沼貢委員
  - (2) 助言・指導者等  
埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課主事〔指定文化財担当〕戸來吏絵
  - (3) 事務局  
五月女正人生涯学習部長、小倉均文化財保護課長、野尻靖文化財保護課副参事兼文化財保護係長、渡辺主査
- 4 議事
  - (1) 議題
    - ① 荒川・鴨川の河川管理の現状と水利計画について
  - (2) 報告
    - ① 自生地内の立木管理について
    - ② 市民への周知について
    - ③ 草焼きの実施について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴人の数 2人
- 7 議事内容 下記のとおり

## 記

- 1 議事事項
  - (1) 荒川・鴨川の河川管理の現状と水利計画について  
竹島睦委員より説明後、質疑応答。
  - (2) 自生地内の立木管理について  
事務局より報告後、質疑応答。
  - (3) 市民への周知について
    - ① さいたま市のサクラソウに関連するホームページについて、事務局より説明後、質疑応答。
    - ② 平成23年開花期の入場者数等について、事務局より報告後、質疑応答。
    - ③ 平成23年開花期に実施したアンケート結果について、事務局より報告後、質疑応答。
  - (4) 草焼きの実施について  
草焼きの実施について、事務局より説明。

## 2 意見

- ① 平成 19 年の大雨の際、越流堤から水が入り、自生地が冠水したことがあった。水は留まらずに、鴨川の方に流れていった。そのような水の流れを把握し、直接自生地に水が入らないようにしてもらいたい。(磯田委員)
- ② 自生地が指定された当時の形状を維持していきたいと考えている。サクラソウ群落に影響を与える自生地内の樹木について、今後どうするのかを策定委員会で早めに結論を出してもらいたい。第二次指定地内の桜の木は、自然の中でかなり異質。なるべく、樹木が大きくなる前に伐採した方が、自生地のためには良いと思う。また、自生地周辺の草花も、種類によっては、自生地の中に入ると、人の手に負えないものもあるので、植栽に関して配慮をしてもらいたい。(磯田委員)
- ③ 自生地内外の樹木をどうするのが問題。管理している公園の担当課でも議論してもらいたい。トウネズミモチ、トベラ、シャリンバイは、鳥によって種が運ばれる。樹木の蒸散作業もある。全体の環境として周辺樹木について考えていただきたい。(佐々木委員)
- ④ 自生地を含んだ公園のあり方について、市民を含めて意見交換をする場を設けた方がよい。皆で課題や意見を共有し、議論してもらおう時期にきている。(堂本委員)
- ⑤ 現在のさいたま市のサクラソウのホームページは、分かりにくい。サクラソウは全国的に有名なのにアクセス数が少ないのは、情報を知りたい人が、さいたま市のホームページに到達しづらいからではないのか。さいたま市の花、埼玉県の花なので、さいたま市のホームページのトップに写真を載せるなど工夫した方が良いと思う。予算をかけてもらいたい。(佐々木委員)
- ⑥ アンケートを来年も実施するのであれば、初めて自生地に来たのか、何回も来ているのかを確認した方が良いと思う。ボランティアの活動時間外の、早朝等に地元の方が自生地に訪れているのではないか。そういう方の意向や意見は強いものがある。(藤野委員)
- ⑦ 荒川彩湖公園とサクラソウ自生地が分離しているので、この二つを連携できれば、駐車場の問題もかなり解決する。橋をかけて、鴨川を渡れるようにすれば、荒川彩湖公園の、家族連れ、子供連れが流れてやってくると思う。また、さくら草まつりのようなイベントには、子どもが来る。そうしたことから、イベントは重要。イベントに参加する人たちのニーズと、普段から自生地に訪れている人たちのニーズと 2 種類あると思う。(佐々木委員)
- ⑧ 江川流域のサクラソウ自生地は地元 N P O で保護されている。この事例を検討し、田島ケ原サクラソウ自生地の今後の維持管理に役立つ情報があるのではないか。(藤野委員)
- ⑨ 現在は、人の手で 11 箇所の決まった場所の株数を数えて、その結果で自生地全体の株数の状況を把握している。科学的なデータとして現状がどうなっているのかを抑えたい。平成 24 年度実施予定の植生図作成は、現在の株数調査に反映されるようお願いしたい。(佐々木委員)

## 3 質問・回答

- 質問① 自生地周辺の環境として、桜草公園内の植生管理について、関係各署での調整は進んでいるのか。(堂本委員)
- 回答① 簡単に結論が出せないが、早めに調整し、進めていきたいと思っている。(事務局)

質問② 平成 23 年に実施したアンケートの意図はなにか。アンケートの設問は、策定委員会で考えたのか。(藤野委員)

回答② 設問の具体的な文言は事務局で考えた。(事務局)

質問③ 実験圃場は、本年は草焼きを行わず、草刈りを実施するとのことだが、刈り取った草はどうするか。その処分費用は。(佐々木委員)

回答③ 刈り取った草は、廃棄物の処分場に運び処理をする。処分費用は、市の直営施設でも有料となる。実験圃場の草の処分は業者委託。(事務局)

質問④ 今後の策定委員会で、自生地の管理方法等の「是非」を話し合うとのことだが、桜草公園の一角に自生地は位置しているので、「是非」ではなく、桜草公園の「あり方」という形ではどうか。(磯田委員)

回答④ 「是非」という丸かバツかという結論ではなく、方向性。どうあるべきかというご提言を策定委員会に出してもらいたい。関係各署が理解し、納得できる管理の方向性について話し合いたい。(事務局)

質問⑤ 群落分布調査の詳細について教えてほしい。(佐々木委員・磯田委員)

回答⑤ 平成 24 年度に実施予定。GPS 等の測定の技術を使って、サクラソウの所在場所を図面に落とししていく作業を行う。事務局としてどのような方法が良いのか検討中であり、詳細は未定。自生地内の植物の増減を見極めるために、植生図を作りたい。毎年、植生図を作成するのが良いとは思いますが、財政的に難しい。(事務局)

#### 4 その他

今回は、社団法人さいたま観光コンベンションビューローより、さくらそう祭りについて説明後、その課題等を確認する。また、自生地の周辺環境である公園の管理について、過去の議論をふまえ、管理や植栽の方向性等について話し合う。

これをもって、会議を終了した。